

(#
札幌大会

1995/9/13

札幌東陵高等学校



五道会道場札幌大会録目次

ゝ			ゝ
ゝゝ	ゝ		
ゝ	ゝ	ゝ	ゝ
ゝ	ゝ	ゝ	ゝ

「回想」

元札幌東陵高校 室賀 忠（札幌大会高校部会事務局長）

事務局を引継いだのは、第50回記念大会の年でした。95年北24条の札幌サンプラザにおいて、秋山仁先生をお招きして、記念講演、式典を行いました。記念大会は、多くの運営資金が必要ですから、協賛金を集めることについては、事前に十分方策をたてました。企業の調査をし、名簿を作成して、ハガキ、電話、FAXそして企業訪問で趣旨を十分説明して回りました。又協賛企業に、増ページをお願いするなど、暑い夏、東奔西走の毎日でした。皆様方には大変迷惑をおかけしましたが、多くの方々の協力のお陰で、目標額を大幅に上回ることができました。また研究発表については、多方面の協力でスムーズに決まりましたが、一番苦労したことは、研究授業の協力校を見つけることでした。エリアは決まっていたので、リストアップし、主任にお願いし、次に知人の教頭、先生方に、更に統括部会長から校長に依頼するなど、あらゆる手を尽くし、やっと決まった時は、本当に肩の荷が下りました。また、翌96年第51回留萌大会が留萌公民館などで開催されました。事務局を引継いで2年目ということもあり、準備には地元と連携を密にし、万全を期して臨みました。地元の方々は、非常に積極的に大会運営に協力してくれました。事務局としては、連絡体制の確立、地元の意向を最大限尊重することに心掛けました。留萌の方々の熱意で、大会は無事終了することができました。この2年間振り返って、多忙をきわめました。沢山の方々の協力で無地役目を終えることができたことを深く感謝しております。

「第50回研究授業を担当して」

岩見沢東高校 松本 睦郎（研究授業者）

1995年9月14日（木）に札幌東陵高校で行われた札幌大会において、札幌平岡高校2年生理系生徒男子27名女子18名合計45名を引率して公開授業を実施しました。

丘珠空港に着陸しようとするYS-11が教室の真上スレスレに飛行して、生徒も私も思わず頭を下げてしまった記憶が残っています。

授業内容は数学Ⅱ「微分係数と導関数」で、高校入学後初めて「微分分野」を学習する授業です。「微分とはどんな考え方なのか？」ライブニッツやニュートン等の先人の「曲線を直線で近似する。」という微分の基本思想を踏まえ、平均変化率から導入し、今では、コンピューターグラフィックス等を使ってビジュアルに説明できるのですが、当時は黒板と色チョークやひもマグネットも使い説明しました。

あれから10年の月日が経過し情報機器も進歩しました。もし、チャンスがあれば、もう1度「微分積分分野」で公開研究授業を実施したいと時々考えています。

.....			
			fi&fi fi&fi fi&fi

